

下記の要領で、安藤正人氏の新著『戦争・植民地支配とアーカイブズ』(全2巻)の  
〈書評シンポジウム〉を、今春5学会・部会の共催で開きますので、ご案内申し上げます。

《記》

日時 2026年4月26日(日) 午前10時～午後4時

会場 対面開催会場 学習院大学(教室は追ってお知らせします)  
[東京都豊島区目白、JR山手線「目白」駅下車]  
オンライン併催(オンライン参加申込方法等の詳細は、後日、それぞれの学会・  
部会からお知らせします。)

内容 〈書評シンポジウム〉

安藤正人『戦争・植民地支配とアーカイブズ 1 戦時国際法と帝国日本』2024年  
安藤正人『戦争・植民地支配とアーカイブズ 2 アジアの日本軍政と敗戦』2025年  
(いずれも東京大学出版会刊)

次第 10:00 開会(趣旨説明を含む)

10:10～ 報告1 「アーカイブズ学から①」

下重直樹氏(学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻)

10:40～ 報告2 「アーカイブズ学から②」

福島幸宏氏(慶應義塾大学文学部)

[小休憩]

11:20～ 報告3 「歴史学から①」

加藤陽子氏(東京大学名誉教授)

11:50～ 報告4 「歴史学から②」

富澤芳亜氏(島根大学教育学部)

12:20～ 昼食休憩(70分)

13:30～ リプライ 安藤正人氏

(人間文化研究機構国文学研究資料館名誉教授、学習院大学元教授)

14:00～ 討論(120分)

16:00 閉会 各学会から広報、閉会挨拶

主催 日本史研究会近現代史部会、大阪歴史科学協議会帝国主義研究部会、  
大阪歴史学会近代史部会、日本アーカイブズ学会、部落問題研究所歴史研究会

〈安藤正人氏著書目次〉

『戦争・植民地支配とアーカイブズ 1 戦時国際法と帝国日本』

序章 「失われた記憶」—アーカイブズ史のまなざし

第一部 戦争とアーカイブズをめぐる国際関係

第1章 国際法におけるアーカイブズの地位

第2章 第二次世界大戦期における在外公館文書をめぐる日英の確執

第3章 1940年上海土地記録問題をめぐる日本と欧米諸国

第二部 植民地支配とアーカイブズ

第4章 日本の植民地支配と「植民地アーカイブズ政策」

第5章 「満洲国旧記整理処」

第6章 朝鮮総督府統治下の「植民地アーカイブズ事業」

『戦争・植民地支配とアーカイブズ 2 アジアの日本軍政と敗戦』

はじめに

第一部 日本占領下アジアにおけるアーカイブズ

第1章 日中戦争期における図書・文書の押収

第2章 日本軍政の「占領地アーカイブズ政策」とその影響

第3章 南方軍政の調査活動とアーカイブズ

第4章 日本占領下香港における記録とアーカイブズ

第二部 日本の敗戦とアーカイブズ

第5章 日本敗戦前後アジアにおける連合国文化財・アーカイブズ保護活動

第6章 日本敗戦前後における連合国日本の日本アーカイブズ押収活動

終章 歴史認識の相互理解はアーカイブズの共有から

【連絡先】

公益社団法人部落問題研究所歴史研究会担当研究委員

竹永三男 (sorekara1951kokoro@sweet.ocn.ne.jp)